

1 精神保健福祉事業

精神障がい者等の医療及び保護を行い、その社会復帰を促進し並びにその発生の予防・早期発見、その他住民のメンタルヘルスの保持・増進を図る。

(1) 精神医療対策の状況

① 精神障がい者の保護に関する取扱件数 平成25年度

種別	区分	申請件数	診断件数	結 果	
				要 措 置	措置不要
総 数		0	0	0	0
法第23条		0	0	0	0
法第24条		10	9	4	5
法第25条		2	2	2	0

② 自立支援医療費（精神通院医療）制度

精神疾患（てんかんも含む）の治療のために、指定医療機関に通院している方を対象に、通院医療費の9割までを公費で負担する（一定の要件により毎月の上限額設定あり）。

平成25年度末管内受給者数 2,392件

(2) 精神保健福祉対策

① 精神障害者保健福祉手帳交付事業

精神障がい者の社会復帰・社会参加の促進を図ることを目的に各種サービスが提供されるよう手帳を交付している。手帳所持者には、等級に応じて税制上の優遇措置や交通費（バス）の運賃割引等がある。

平成25年度末管内の所持者数 1,103件

② 精神障がい者保健福祉相談指導事業

精神障がいに対する正しい知識の普及啓発、支援者の人材育成、関係機関の連携強化等によって、地域の精神保健福祉のネットワークの充実を図る。また、相談、訪問等により、精神障がい者やその家族の地域生活を支援する。

ア 精神科クリニック

専門医及び保健師による定期相談

回数12回（相談延件数31件）

イ 相談及び訪問指導

在宅の精神障がい者及びその家族に対する相談・指導・家庭訪問。

所内相談（延件数） 65件

電話相談（延件数） 583件

訪問指導（延件数） 78件

ウ 精神保健福祉連絡会（こころ元気会）

関係機関との連携を強化し、地域ケアの充実及び地域住民のこころの健康の保持増進を目指した連絡会の実施。

開催回数	4回
参加延人数	133名
内容	(第1回) 関係機関事業紹介・情報交換 講演「精神保健福祉の法体系・施策と社会資源」
	(第2回) 松阪地域自殺・うつネットワーク会議
	(第3回) 講演「成人期の発達障害の理解と対応」 グループワーク
	(第4回) 講演「精神疾患の理解と対応及び最近のトピックス」

エ 圏域自立支援連絡協議会精神障がい者地域移行支援部会

精神障がい者地域移行・地域定着支援事業の推進にむけて検討、情報交換等を実施。

開催回数	2回
参加延人数	27名
内容	(第1回) 各機関の現状と課題 講義「地域移行・地域定着支援事業について」 意見交換
	(第2回) 地域移行・地域定着支援事業の実施状況について 講義「法改正・アルコール健康障害対策基本法等について」 意見交換

オ 市町精神保健福祉担当保健師等勉強会

市町保健師や相談担当者等のスキルアップを図り、地域における相談支援活動の充実を図るための研修や情報交換を実施。

開催回数	4回
参加延人数	95名
内要	(第1回) 講演「精神保健福祉相談の基礎」
	(第2回) 講演「機能不全家族と世代間連鎖」
	(第3回) 精神・母子合同事例検討会 講演「効果的な事例検討の進め方」
	(第4回) 事例検討

カ 家族勉強会

家族や当事者の、精神保健福祉に対する知識や理解を深めるために研修等を実施。

内容	講演「災害時のこころのケアについて」
参加人数	21名

(3) 精神保健福祉体制の整備

管内の精神保健福祉対策の推進にむけて、市町、関係機関と連携し体制整備を進める。

市町ケース検討会	22回
医療観察法によるケア会議	9回

圏域自立支援連絡協議会	3回
松阪市自立支援協議会	
地域移行・定着支援WG	1回
認知症医療連携協議会	2回
松阪地域依存症ネットワーク会議	1回
家族会	1回

2 難病対策

(1) 難病在宅ケア事業

難病患者・家族が必要なサービスを受けながら安心して地域で生活できることを目指し、地域で保健、医療、福祉を包括した在宅療養支援体制の推進を図ることを目的とする。

① 個別ケアの実施

ア 要支援難病患者やその家族が抱える日常生活上及び療養上の相談について、患者等のプライバシーに配慮しつつ、関係機関と連携を図り、個別の相談、指導、助言を行う。

訪問相談	来所相談	電話相談
67件	71件	283件

イ 在宅療養支援計画策定、評価事業

要支援難病患者に対し、個々の実態に応じて、きめ細かな支援を行うため、在宅療養支援計画を作成し、適切なサービスの提供を行う。また、適宜、評価を行い、関係機関等と相互に連携し、支援体制の整備を図る。

<災害を想定した支援>

ウ 災害時要援護者リストの登録支援

平成23年度より、松阪管内すべての市町（松阪市、明和町、多気町、大台町）で災害時要援護者リストへの登録が可能となり、平成23年度に登録希望者について登録支援を実施した。平成25年度も引き続き、登録希望を確認し、登録支援を実施した。

登録者数	松阪管内	松阪管内内訳			
		松阪市(登録希望者数)	明和町	多気町	大台町
平成21年度	26名	登録不可0名(206名)	7名	8名	12名
平成23年度	82名	75名	5名	2名	0名
平成24年度	20名	14名	3名	2名	1名
平成25年度	4名	1名	2名	1名	0名
計	132名				

エ 電源を使用する医療機器使用状況の確認

難病患者の療養状況および人工呼吸器など常用して医療依存度が高い難病患者を

把握し、個別支援計画の策定等、今後の支援につなげていくことを目的に、特定疾患更新時に聞き取り調査を実施した。

人工呼吸器使用患者 2名
在宅酸素療法 2名
吸引器 2名

② 医療相談事業

目的：神経難病の多くは進行性であり、多くの疾患が有効な治療法も少なく、徐々にいろいろな身体機能の障害をきたすといわれている。患者及び家族が、神経難病の最新治療を知る機会を設け、自宅でできるリハビリテーションや日常生活の工夫について学ぶことで、日常生活の質の向上を目指す。

日時：平成25年11月6日（水）

場所：三重県松阪庁舎

対象：神経難病患者、家族

筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、パーキンソン病、多系統萎縮症、球脊髄性筋萎縮症、慢性炎症性脱髄性多発神経炎の患者及び家族

参加者数：患者22名、患者家族23名、関係者5名

講師・相談対応者：松阪中央総合病院 大達清美医師
済生会明和病院 山本久美子理学療法士

内容：講演、個別医療相談

ア 講演内容

○「神経難病の“今”」

講師：三重厚生連松阪中央総合病院 大達清美先生

○「自宅でできるリハビリテーション」

講師：済生会明和病院 山本久美子先生

イ 医療個別相談の内訳

医療	リハビリ	意志伝達装置
6名	5名	4名

相談対応者

- 医療：三重厚生連松阪中央総合病院 大達清美先生
- リハビリ：済生会明和病院 山本久美子先生
- 意思伝達装置：CTF 松阪

(2) 特定疾患医療

難病は治療が極めて困難で長期の療養を要し、治療費も高額なため特定な56疾患を指定し、患者の自己負担を軽減し治療の促進を図る。

平成26年3月末現在受給者数

番号	疾病名	松阪	多気	明和	大台	合計
1	ベーチェット病	23	1	2	2	28
2	多発性硬化症	23	2	1	1	27
3	重症筋無力症	21	2	2	2	27
4	全身性エリトマトーデス	80	11	13	4	108
5	スモン	2				2
6	再生不良性貧血	15	2	4	1	22
7	サルコイドーシス	31	4	3	1	39
8	筋萎縮性側索硬化症	12		3		15
9	強皮症・皮膚筋炎又は多発性筋炎	88	8	7	6	109
10	特発性血小板減少性紫斑病	55	5	5	3	68
11	結節性動脈周囲炎	9	2	3	1	15
12	潰瘍性大腸炎	186	25	35	11	257
13	大動脈炎症候群	5	1			6
14	ビュルガー病	4			1	5
15	天疱瘡	7	4			11
16	脊髄小脳変性症	34	3	1	3	41
17	クローン病	41	2	5	2	50
18	難治性のうち劇症肝炎					
19	悪性関節リウマチ	9				9
20	パーキンソン病関連疾患	195	23	30	11	259
21	アミロイドーシス	5		1	1	7
22	後縦靭帯骨化症	75	12	13	5	105
23	ハンチントン舞蹈病	4				4
24	もやもや病（ウィリス動脈輪閉塞症）	11	2	3	1	17
25	ウェゲナー肉芽腫				1	1
26	特発性拡張型（うっ血）心筋症	53	7	13	8	81
27	多系統委縮症	19	1	2	1	23
28	表皮水疱症					
29	膿疱性乾癬	4		1	1	6
30	広範脊柱管狭窄症	9		1		10
31	原発性胆汁性肝硬変	39	6	12	3	60
32	重症急性膵炎	1	1			2
33	特発性大腿骨頭壊死症	21	2	2	1	26

34	混合性結合組織病	15		3	3	21
35	原発性免疫不全症候群	2				2
36	特発性間質性肺炎	12		2		14
37	網膜色素変性症	24	3	3	4	34
38	プリオン病					
39	肺動脈性肺高血圧症	2	1			3
40	神経線維腫症	1				1
41	亜急性硬化性全脳炎					
42	バット・キアリ(Budd・Chiari)症候群					
43	慢性肺血栓栓性肺高血圧症	1				1
44	ライソゾーム病 (ファブリー病含む)					
45	副腎白質ジストロフィー					
46	家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)					
47	脊髄性筋萎縮症	1				1
48	球脊髄性筋萎縮症	1				1
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	5		2		7
50	肥大型心筋症	9		4		13
51	拘束型心筋症					
52	ミトコンドリア病					
53	リンパ脈管筋腫症 (LAM)					
54	重症多形滲出性紅斑 (急性期)					
55	黄色靭帯骨化症	6	2	1	2	11
56	間脳下垂体機能障害	21		4	1	26
	合計	1,181	132	181	81	1,575

3 母子保健対策事業

母性並びに乳幼児の健康の保持、増進を図り、適切な保健指導、訪問、面接、医療の措置を講じる。

(1) 健やか親子支援事業

親子が健やかに暮らせる地域づくりをめざし、社会的、家庭的、身体的にリスクの高い児に対して、家庭訪問や相談を行い健やかな発育・発達を支援する。

また、関係者を対象に研修会や連絡会を開催し、関係機関が連携し早期に支援が行えるよう体制を整備する。

① 心身の発達に問題をかかえる子どものフォローアップ

対象：小児慢性特定疾患児とその家族、ハイリスクケース 等

ア 家庭訪問 延べ 27件

イ	面接相談	延べ	13件
ウ	電話相談	延べ	73件
エ	連絡調整会議	延べ	5回/年

② 児童虐待予防ケア

対象：管内市町保健師

- ア 対応困難な事例に関する相談支援 延べ 4件
 イ 多気郡における妊娠届出時アンケート調査実施に対する支援

③ 思春期保健

- ア 思春期相談 延べ18件
 イ 学校保健役員会・理事会への出席 6回/年

④ 母子保健体制の整備

- ア 松阪管内母子保健担当者意見交換会 1回/年
 イ 管内市町との意見交換会 4回/年
 ウ 管内母子保健担当者会議 1回/年

日時：平成26年1月21日(火) 14:00～16:30

場所：県松阪庁舎 大会議室

参加者数：18名

内容

- ・市町における母子保健事業実施状況について
- ・国や県における母子保健の動向について
 県庁子育て支援課母子保健班 副参事兼班長 田中 郁子さん
- ・平成26年度以降の母子保健事業について

- エ 精神保健福祉・母子保健分野における事例検討会 1回/年

日時：平成26年2月4日(火) 13:00～17:00

場所：県松阪庁舎 大会議室

参加者数：29名

内容

- テーマ「事例検討の効果的な進め方と実践」
 講師 徳永家族問題相談室 室長 徳永 雅子さん

- オ 松阪地域における周産期親子支援連絡会議 2回/年

○第1回

日時：平成25年11月13日(水) 18:00～20:00

場所：県松阪庁舎 大会議室

参加者数：37名

内容

- ・講演 「ナオミレディースクリニックの体重管理について
～ペルビーケアにおける腰痛対策～」

講師 医療法人 奈々光会 ナオミレディースクリニック
師長 藤田 珠美さん
助産師 安川 富美子さん

- ・三重県 HTLV-1 母子感染予防対策マニュアルについて

講師 三重県松阪保健所 保健所長 島田 晃秀

○第2回

日時：平成26年2月19日(水) 18:00～20:00

場所：県松阪庁舎 大会議室

参加者数：36名

内容

- ・講演「子ども虐待の現状と対応の実際」
講師 中勢児童相談所 所長 鈴木 聡さん
- ・周産期親子支援における管内の連携状況について報告・検討
- ・多気郡における妊娠届出時アンケート調査 報告

カ 松阪市次世代育成支援行動計画地域協議会

1回/年

(2) 各種医療給付事業

① 医療給付状況

平成26年3月31日現在

区分	不妊治療	小児慢性特定疾患
申請件数	234	208
承認件数	234	207
却下件数	0	1

ア 特定不妊治療費助成

特定不妊治療を受けられたご夫婦に対し、費用の一部を助成する。

イ 小児慢性特定疾患治療研究事業

国が指定した特定疾患にかかっていることにより、長期にわたり療育を必要とする児童の健全な育成をはかるため、治療方法に関する研究等に資する医療費の公費負担を行う。

大台町										
合計	15	14	12	10			2	2	2	2